



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 10. 19

3, 4年生用 No.51

最後までやろうとする姿勢が大切



先日ある企業を受験した生徒の事で企業の方から報告を受けました。それによると、他の受験者は時間ぎりぎりまで問題に向かい、消しゴムで何度も消したりしていたようですが、本校の生徒は、早々と回答を終え、後は何となく残りの時間を過ごしていたとのことでした。後で採点したところ、あまり点が取れていなかったとのこと。企業の方曰く、「**企業に入ればたとえ難しいことでも最後の最後まで何とかしようと取り組む姿勢が大切であり、そうした意味ではこの生徒は将来余り伸びないように感じられる**」とのことで結果的に不合格となってしまいました。

皆さんの定期試験を見ていると、多くの生徒がもう少しやる気になれば何とかなるだろうに、すぐあきらめてそれ以上やろうとしない姿が見られがちです。世の中に出れば回答のない問題の方が多くあります。そこで簡単にわからないからとあきらめてしまったのでは、何も解決しません。**普段からとことん最後まで頑張ろうとする姿勢を身につけておかないと、人間それ以上の伸びが期待できません。**企業の人を見るところをきちんと見ていることを改めて感じました。



就職戦線の厳しさを深刻に受け止めよう

今年の就職戦線の厳しさは当初予想した以上に大変厳しくなっています。一次試験がほぼ終わりに近づいていますが本校の不合格者は例年以上に多くなっています。しかも**次の会社の求人がなかなか出てきません。**就職支援員の方が毎日必死になり企業周りをしていただいています。「景気の先行き不安」のために、求人企業がいっこうに増えません。「9月までは忙しくて人が欲しいと思っていたが、10月に入り仕事が一気になくなってきた」ともらす企業が多くなり、各学校の**支援員さんも次の会社が探せない状況**とのこと。少なくとも年内は求人があまり出てこない可能性が高そうです。

そんな厳しい状況にもかかわらず、**せっかく探していただいた企業に対して、応募しようとしないうちに見られます。**とりあえず一次試験不合格者の半数が次の会社見学に行ったりすでに内定したのも見られますが、残り半数の人がいっこうに動き出そうとしていません。さらに見学に行った人も**応募書類の提出が遅く、もっとてきぱきと対応しないと他校の生徒達に先を越されそう**です。

もう少し待てばもっとよい会社の求人があるのではとと思っているのでしょうか。運良くそうした会社が出てくるかもしれませんが、3月まで残った人全員分の職が確保できるのか昨年以上に不安です。ちなみに本校の就職希望者で未定の数は18日現在47人です。これだけの数を卒業式までに解消するのは極めて難しそうです。この厳しさをもっと深刻に受け止め早め早めの対応を心がけましょう。

裏面にハローワークから頂いたまだ埋まっていない求人先の一覧を掲載しました。希望するところがある場合は早めに進路室まで申し出て下さい。

進化とは
より優れたものになることではない。
それまでとは違う環境に
順応することだ。

(宋文洲猛語録)